



(写真) Shutterstock “トランプ政権 少なくとも2026年1月末まではベネズエラ原油の海上封鎖を継続”

2025年12月24日（水曜）

政治

- 「[出航したタンカー ベネズエラ海域に戻る](#)
～[拿捕されたパナマ籍タンカーと同時に出航](#)～」
- 「[MCM氏 早期ベネズエラ帰国を約束](#)」
- 「[国連専門家 米の海上封鎖は武力侵略に該当?](#)」
- 「[Kast、Noboa 大統領 ベネ移民について協議](#)」
- 「[マドゥロ大統領 クリスマスにメッセージ](#)」

経済

- 「[12月 米のベネ原油輸入は日量19万バレル](#)」
- 「[コロンビア・ベネズエラ貿易額 8.3%増](#)」
- 「[ベネズエラ人 95%は銀行口座を保有](#)」

2025年12月25日（木曜）

政治

- 「[トランプ政権 2カ月はベネズエラ海上を封鎖](#)
～[キャッシュフロー完全に途絶える懸念も](#)～」
- 「[ロシア 米国の行為は世界の法秩序の脅威](#)」
- 「[マドゥロ政権 政治犯ら71名を解放](#)」
- 「[ホンジュラス大統領選 右派候補が当選](#)」

経済

- 「[物価上昇、先行き不安感により年末消費減退](#)」
- 「[ベネズエラ原油の海上封鎖 キューバに打撃](#)」

社会

- 「[国際線縮小でクリスマスに帰国できず](#)」

2025年12月24日（水曜）

政治

「出航したタンカー ベネズエラ海域に戻る
～拿捕されたパナマ籍タンカーと同時に出航～」

12月23日 船舶の動きを追跡している「Tanker Trackers」は、先週ベネズエラ原油を積んでホセ・ターミナルを出港したタンカー「Kelly（パナマ籍）」がベネズエラ海域に引き返したと報じた。

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1311](#)」で紹介した通り、12月20日に米国軍はベネズエラ産原油約190万バレルを積んで中国に向かっていたパナマ籍のタンカー「Centuries」を拿捕した。

ロイター通信によると、今回ベネズエラ海域に引き返した Kelly は拿捕された Centuries とほぼ同時にベネズエラを出航しており、2隻のタンカーはベネズエラ海軍の軍艦に護送されていたという。

米国メディア「The New York Times (NYT)」は、12月16日、17日にベネズエラのホセ・ターミナルから軍艦に護送された2隻のタンカーが出航したと報じていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1310](#)」）。

NYT の報道では2隻のタンカーの名前は明らかにされていないが、Centuries と Kelly だったということになる。

なお、Kelly はベネズエラ産原油を積んだまま引き返しており、現在は Amuay 港の付近に滞留しているという。

米国軍によるタンカー拿捕を受けて、ベネズエラ原油の輸出スケジュールは完全に混乱しており、現在も数多くのタンカーがベネズエラ海域に滞留。新たな指示を待っている段階だという。

「MCM 氏 早期ベネズエラ帰国を約束」

12月24日 ベネズエラ野党の指導者マリア・コリナ・マチャド氏（MCM）は、自身の SNS アカウントに音声メッセージを投稿。ベネズエラへの早期帰国を約束した。

「近いうちに新たなステップに関する発表を行う」
 「我々の勝利には、全ての協力が必要になる」
 「全てのベネズエラ国民が理解している通りの理由から現時点で次のステップを明らかにすることは控える」
 「あなた方と共にベネズエラでの戦いを完結させるために、すぐに、とても近いうちに私はベネズエラに帰国する」「この闘いはあなた方一人一人のためのもの」
 「現在の不公平を終わらせるために、我々はあなた方を決して一人にはしない」とコメントした。



Maria Corina Machado

@MariaCorinaYA · Seguir

Queridos venezolanos,
Reciban, con todo mi cariño, mi mensaje en esta Navidad.

Muy pronto estaremos juntos, con nuestras familias en Venezuela, construyendo un gran país.

Que Dios nos bendiga a todos. 🙏



1:21 a. m. · 25 dic. 2025

(写真) @MariaCorinaYA

「国連専門家 米の海上封鎖は武力侵略に該当？」

12月24日 国連の人権専門家らは、トランプ政権によるベネズエラを対象とした海上封鎖を非難する趣旨の声明を発表。

「米国がベネズエラに対して科している部分的な海上封鎖は、国際法の基本原則に違反しており、不法な武力行使としての武力侵略に該当し得る」との見解を示した。

さらに、「この侵略行為は普遍的管轄権の対象となり、すべての国家が訴追する権限を有する」と付け加えた。

同声明では、2025年9月以降、米国軍が麻薬密輸に関与したとされる民間船舶28隻を攻撃し、少なくとも104人を米国政府が意図的に殺害したと指摘。

「殺害された人々はいずれも、軍による致命的な武力行使を正当化するような差し迫った脅威をもたらしてはいなかった」との見解を示した。

なお、この声明には、対テロ対策担当特別報告者の Ben Saul 氏、開発の権利担当特別報告者の Surya Deva 氏、平和的集会の自由担当特別報告者の Gina Romero 氏、民主的かつ公正な国際秩序の促進に関する独立専門家の George Katrougalos 氏が署名している。

「Kast、Noboa 大統領 ベネ移民について協議」

チリの José Antonio Kast 次期大統領は、アルゼンチン訪問の際に、エクアドルの Daniel Noboa 大統領とベネズエラ不法移民の送還について協議を行ったことを明らかにした。

Kast 次期大統領は、記者会見にて

「今回のアルゼンチン訪問の際にチリ、ペルー、エクアドルにいる不法移民を本国に送還できるような人道支援便の運航について提案を行った」「同時にベネズエラ政府に対して、これらの人々が本国に帰国できるよう国境を解放するよう要請する」

「現在ベネズエラから800万人以上の人々が世界各国に移住している」「我々にとってこの問題を解決するのはとても重要である」

と説明した。

なお、Kast 次期大統領の提案について Noboa 大統領がどのような反応を示したのかは明らかにしなかった。

「マドゥロ大統領 クリスマスにメッセージ」

12月24日 マドゥロ大統領は、クリスマスを前に国営放送にて国民に対してメッセージを送った。

「我々の故郷のために働き、戦い続ける」

「ベネズエラは挑戦の国である」

「ベネズエラは再生の時にある」

「この挑戦と新たな可能性に満ちた時代に生きていることを誇りに思おう」

「神は常に我々のそばにいて、神の与える試練は我々をより良い人間にし、我が国をより良い国に変えてきた」とコメント。

また、マドゥロ大統領に同伴したシリア・フローレス大統領夫人は「人生において善は常に勝利する」と述べた。

経済

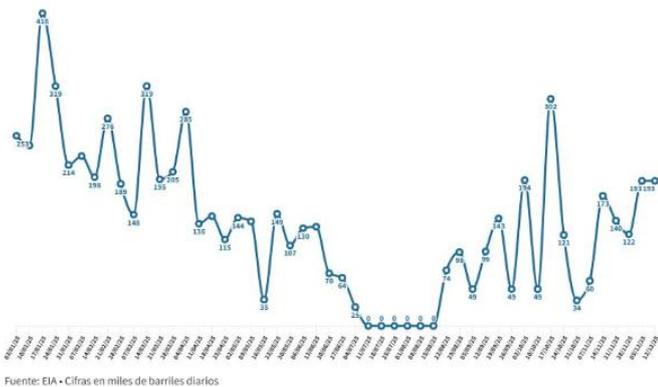
「12月 米のベネ原油輸入は日量19万バレル」

米国軍がベネズエラ原油を積んだタンカーを拿捕したことで、原油輸出にイレギュラーが生じているが、米国向けの原油輸出は堅調を維持している。

米国の「エネルギー情報局 (EIA)」によると、2025年12月第1週、第2週の米国向けベネズエラ原油・石油製品の輸出量は1週目、2週目ともに日量19.3万バレルだったという。

これは2025年11月の平均輸出量より53%多い。なお、米国にとって日量19.3万バレルの輸入量は国別で6位だという。

Exportación de crudo venezolano a Estados Unidos



(写真) EIA

米国向けの原油輸出(石油製品を除く)だけに限ると12月第1週目の輸出量は平均で日量15.7万バレル。第2週の輸出量は平均で日量16.2万バレルだという。

「コロンビア・ベネズエラ貿易額 8.3%増」

「コロンビア・ベネズエラ商工会 (Cavevol)」の Luis Alberto Russian 代表は、2025年1～9月までの両国の貿易額(輸出・輸入の合計)が8億6300万ドルになったと発表。

前年同期(24年1～9月)の7億9700万ドルから8.3%増加したと説明した。

なお、コロンビアからベネズエラ向けの輸出額は7億7900万ドルで前年同期の6億9300万ドルから12%増。

一方、ベネズエラからコロンビア向けの輸出額は8300万ドルで、前年同期の1億300万ドルから減少したという。

他、2025年通年の両国の貿易額について、当初15億ドルと予想していたが、直近のベネズエラの経済不安を受けて13億ドルに下方修正している。

「ベネズエラ人 95%は銀行口座を保有」

デルシー・ロドリゲス副大統領は、2025年12月末時点のベネズエラ人の銀行口座保有率について95%と発表。

「ベネズエラは世界で最も銀行口座保有率の高い国であり、電子取引の進んだ国」との見解を示した。

確かにベネズエラでは慢性的なインフレの影響でボリバル通貨の貨幣・紙幣を使用して買い物をすることは実質的に不可能な状態にあり、銀行口座を保有し、カード支払いしなければならない状況になっている。

また、ロドリゲス副大統領は
「ベネズエラでは、多くの通貨で決済が可能で且つ暗号資産プラットフォームを活用し、混乱なく国が前進できるようなシステムが構築されている」とコメントした。

2025年12月25日（木曜）

政治

「トランプ政権 2カ月はベネズエラ海上を封鎖
～キャッシュフロー完全に途絶える懸念も～」

ロイター通信は、匿名の米国政府関係者から入手した情報として、トランプ政権はベネズエラへの海上封鎖を今後2カ月間は継続する方針と報じた。

米国政府関係者は
「依然として軍事的な選択肢は存在するが、当面は制裁措置による経済的圧力が念頭になっている」と説明。

この情報が事実であれば、少なくとも現時点では米国政府によるベネズエラへの地上侵攻の可能性は低いと理解できる。

また、米国政府関係者は
「現在の取り組み（海上封鎖）は、マドゥロに大きな圧力をかけており、1月末までにベネズエラが大幅な譲歩を受け入れなければ、経済的破滅に直面することになる」とコメントしたという。

確かに12月10日に米国軍がベネズエラ原油を積んだタンカーを拿捕して以降、この2週間 PDVSA はまともに原油を輸出できていないと思われる。

この状況が続くと、ベネズエラの外貨（暗号資産含む）のキャッシュフローが完全に途絶える危険性もある。

仮に何らかの手段でベネズエラ原油を輸出できていたとしても大幅なディスカウントを余儀なくされ、実質的な収入は限られる。

この状況が続けば、マドゥロ政権は極めて厳しい状況に追い込まれることになるだろう。

「ロシア 米国の行為は世界の法秩序の脅威」

12月25日 ロシア外務省の María Zajárova 報道官は記者会見にて、米国によるベネズエラ近海での海上封鎖について言及。

直近のカリブ海での米国軍の行動について「法的混乱」「世界の法秩序を直接的に脅かす行為」と批判。

「他者の資産の不法な収奪、海賊行為、襲撃、強盗など我々がはるか昔に忘れ去った慣行が再発している」「我々はこれらの行為（米国政府によるベネズエラへの圧力）を強く批判し、海洋の安定と法律の尊重を求めるとコメントした。

一方、米国の Kristi Noem 国土安全保障長官は、FOX News のインタビュー番組にて、ベネズエラ問題について言及。

「我々は船舶を拿捕しているだけではない」「世界全体に向けてメッセージを送っている」「そのメッセージとは、“マドゥロが関与している違法行為は容認できない”というものだ」「彼は退陣しなければならない」「我々は自国民を守る」と説明した。

また、「マドゥロ政権は石油収入で得た資金を利用して次世代の米国人を殺害している」と主張。ベネズエラ石油産業の封鎖を正当化した。

「マドゥロ政権 政治犯ら71名を解放」

12月25日 ベネズエラで71人の政治犯が釈放されたと複数の国内外メディアが報じた。

釈放はクリスマスの深夜から午前にかけて行われた。71人の内訳は、65人が男性、3人が女性、3人が未成年者だという。

釈放された人々は、主に2024年7月に実施された大統領選挙後の抗議活動に関連して拘束されていたとされる。

選挙結果をめぐる不正疑惑をめぐり国内で政治的緊張が高まり、多数の市民が逮捕・起訴された背景がある。

政府は当初、これらの拘束者を「テロ行為」や「破壊活動」に関与したとしていたが、野党や人権団体はこれを政治的な弾圧と批判してきた。

人権団体によると、ベネズエラ国内では選挙後の抗議活動の過程で約2400人が逮捕され、その後2000人以上が解放されてきたものの、依然として多くの拘束者が残されているという。

また、解放された人々の中には、厳格な司法監視下に置かれるケースがあると訴えている。

なお、マドゥロ政権は毎年クリスマス時期に政治犯を解放するのが慣習ようになっており、2025年も例にもれず解放したことになる（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1159](#)」）。

今回の政治犯の解放は慣習に沿った対応であり、米国政府と何らかの交渉があつての解放というわけではないだろう。

「ホンジュラス大統領選 右派候補が当選」

11月30日 ホンジュラスで大統領選が実施されたが、同選挙の開票が止まり、選挙結果が発表されない状況が続いていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1306](#)」）。

選挙から1カ月近くが経過した12月25日 ホンジュラスの選挙当局（CNE）は、右派系の Nasry Asfura 候補の当選を発表。Asfura 氏が次期大統領に就任すると正式に発表した。

なお、Asfura 候補の得票率は40.3%。中道 Salvador Nasralla 候補は39.5%。左派 Rixi Moncada 候補は19.2%だった。

これに対し、政権与党（左派）の大統領選候補である Rixi Moncada 候補は、CNE の決定を「民主主義の殺害」と強く非難した。

Moncada 候補は SNS で

「CNE は帝国（外国勢力）の指示に従い、我が国の民主主義を葬った」「結果は不正と外国の介入によるものであり、国民の意志を裏切るもの」と投稿した。

Moncada 候補は、選挙期間中にメディアや企業による情報操作や圧力を受けたと主張。

選挙結果伝送システム（TREP）の不正操作の疑いを挙げ、これらが選挙結果を汚したと非難した。彼女は支持者に対して、「真実は必ず明らかになる」と呼びかけ、抵抗の姿勢を崩していない。

なお、トランプ政権は Asfura 候補を支持しており、ルビオ国務長官は、今回の結果を尊重し、速やかな政権移行を受け入れるようホンジュラス政府に要請している。

経済

「物価上昇、先行き不安感により年末消費減退」

クリスマス商戦を迎えたベネズエラで、先行きの不安感が消費に悪影響を与えている。

通りには多くの人が見られるものの、購買意欲は抑制されており、売り上げが伸び悩む「にぎやかだが売れない」状況が報告されている。

カラカスの主要市場は人で賑わっているものの、人々は日用品やクリスマスの定番料理（アジャカなど）の材料を小さな単位で購入しているという。商店側からは「利益がほとんど出ない」という声もあり、経済活動の低調さが懸念されている。

経済活動を押し下げる直接的な理由は、物価上昇とボリバル通貨の価値下落にある。

2025年のボリバルは対ドルで大幅に下落し、これに伴い物価が急騰している。現地の購買者はドル建てで価格を見ることが一般的になっており、支払いでもドル建てとボリバル建て、暗号通貨建てが混在する状況が続いている。

ボリバル通貨の価値下落、物価上昇の理由は、ベネズエラの外貨獲得能力の減退とされ、米国の経済圧力が根底にあるとの指摘は多い。当面は米国による経済圧力が続くと思われており、先行きの不安感が消費に悪影響を与えている面は強い。

「ベネズエラ原油の海上封鎖 キューバに打撃」

米国政府がベネズエラ原油を標的にした海上封鎖を実行する中で、「キューバが最初の被害国になる」との見方が広がっている。

キューバは伝統的にベネズエラからの原油輸入に依存してきた。

ベネズエラが石油を優遇価格で供給する代わりにキューバは医療・人材支援などを行う関係が続いてきたが、トランプ政権がベネズエラ原油を積んだタンカーの拿捕や封鎖措置を実施したことで、キューバ向けの原油輸出も停止。同国のエネルギー供給や経済状況の悪化が懸念されている。

現地報道によれば、キューバはすでに電力不足や機能不全が深刻化しており、国民の日常生活や経済活動に打撃を与えていると指摘されている。

社会

「国際線縮小でクリスマスに帰国できず」

クリスマスを前に、国際航空会社が相次いでベネズエラ発着便の運航を停止した。その結果、故郷へ一時帰省を希望していたベネズエラ移民が帰国できない事態に直面。現地では「悲しいクリスマスになった」と報じられている。

ベネズエラで年末を過ごしたいと考えていた移民らは、ここ数週間の欠航や運賃の急騰に苦しんでいる。

アルゼンチン在住の37歳のベネズエラ人女性は、「2年かけて費用を貯めてクリスマスに娘と帰国する計画を立てていたが、フライトキャンセルにより帰国を断念した」「その日はたくさん泣いた」と語った。

また、他の乗客も経済的負担の大きさや接続便の不足などによって帰路が断たれ、故郷での家族再会を諦めざるを得ないケースが相次いでいると報じられている。

以上